

No. 009

## かまぼこ製品は健康長寿のマイナス因子である 体タンパク質や筋肉量の低下の予防に有益

**研究タイトル**；加齢に伴う基礎代謝低下、およびエネルギー代謝日内プロフィールの加齢変化に対する蒲鉾製品の改善効果の研究

**主任研究者**；東京都老人総合研究所 宮坂京子

**研究目的**；高齢者では、身体活動量が低下するために身体の筋肉の量も減少し、その結果エネルギー消費量も減少する。同時にエネルギー必要量も減少する。そのために食欲や摂食量が低下し、時として栄養障害を生じることになる。従ってこの悪循環をどこかで打ちきることが必要である。蒲鉾製品の摂取が、この悪循環を切ることが可能となるかどうかを検討することを目的とした。

**研究結果**；蒲鉾飼料を投与すると、1日のエネルギー消費量が加齢に伴って減少することがなく、むしろ平均値では増加傾向がみられた。個体のエネルギー消費量は、体タンパク量を反映するとされている。蒲鉾飼料は、体重を増加させずに、エネルギー代謝量を増加した。エネルギー代謝量の増加の理由は、肝臓や腎臓などの実質臓器の重量が増加したためと考えられる。蒲鉾飼料と通常飼料とでは、消化吸収率には有意差がなかったことから、蒲鉾飼料中にはタンパク含有量が多いため、臓器重量が増加したと思われる。これらの結果をまとめると、蒲鉾飼料の投与は、加齢に伴って生じるエネルギー消費量の低下を抑制することで、高齢者にありがちな栄養障害を来す悪循環を断ち切ることができると考えられる。従って蒲鉾は健康長寿のマイナス因子である栄養障害とくに体タンパクや筋肉量の低下(サルコペニア)の予防に有益と結論された。(図にしめした CRF1 は通常の飼育食)。

